



US Remac, Inc.
President & CEO

葉 英 祿

1992年関西学院大学商学部卒、(株)パソナ入社。1997年よりNCN米国大学機構にて2000名を超える日本人留学生の就職指導を行う。2004年「誰でもなりた自分がある。」をコンセプトに、100%求職者志向の人材紹介・派遣会社USリマックを設立。

第3回 採用システムを知る

日米の就業と人材の考え方の違い

米国社会におけるキャリアアップを具体的に考える際には、まず米国における就業観と人事システムを理解する必要があります。そのため、日本と米国を比較してみましょう。

米国では基本的に、日本の企業によく見られる、毎年決まった時期に一定の新卒学生を採用する「定期採用」は行わず、欠員や業務拡大、新規事業などの必要に応じて職種ごとに人材を募集します。これは日米の就業観の違いに基づく人事システムの相違によるものです。日本では「人に仕事がつく」と考えるのに対し、米国では「仕事に人がつく」と考えます。

米国の企業は、業務計画や人事計画を立て、それらに基づいて職務記述書 (Job description) と給与基準を作成し、その職務を遂行できる人を募集・採用します。そのため、募集・採用の対象となるのは、その業務の経験者が中心です。言い換えれば、職務経験のない新卒者は、就職において不利とということになります。米国で大学生が積極的にインターンシップをするのは、在学中に可能な限りの職務経験を得るためです。これは前述の通り、米国の企業が多くが「即戦力」を求めているからです。

一方、日本の企業は、即戦力に

はならなくても将来必要となる人材や3〜5年後に活躍してくれそうな人材を確保して会社に置いて育てているのです。キャリアアップのための転職が一般的な米国では、終身雇用が今なお主流である日本の企業に見られるような充実した研修制度を持つ企業はほとんどありません。

求人募集と採用の仕組み

米国企業の人事担当者は、人材の必要性が生じると、新聞、雑誌、フリーペーパー、インターネット、人材会社などあらゆる手段を使って求人広告を出します。しかし実際のところ、即戦力として活躍できるスタッフをタイムリーに確保することは、企業にとって至難の業なのです。求人広告を出すにも契約締結や原稿作成などの時間と手間がかかります。また、企業は人材募集・採用における訴訟を

防ぐために、細心の注意を払わなければなりません。こうしたことから、米国では人材確保を迅速にスムーズに進めるため、人材会社を使って求人を行う企業が増えています。

一方、求職者にとっても、不定期に発生する欠員や求人募集を見つけないのは難しいことです。どの求人情報を見れば自分が希望する企業や仕事を見つけられるのかと、あれこれ苦心された人は多いと思います。新聞や雑誌、インターネットなどの求人情報を片っ端から調べて一つの企業にコンタクトし、募集状況や詳細を確認していくのは、よほど時間に余裕がない限り難しいでしょう。その点では、求職者にとっても、企業が募集しているポジションや、そのポジションに関する採用条件などの詳細を把握している人材会社を利用するメリットは大きいといえます。

会社設立：2004年2月

事業拠点：Los Angeles(CA)/
Houston(TX)/ Huntsville(AL)/
Chapel Hill(NC)

事業内容：「誰でもなりた自分がある。」をコンセプトに、カリフォルニア、テキサス、アラバマ、ノースカ

ロライナを拠点に、100%求職者志向の人材サービス(人材紹介・人材派遣)と人事コンサルティングを全米にて提供。転職・就職エージェントとして、求職者の転職と就職を徹底サポート。登録及びお仕事紹介は無料。

■カリフォルニアオフィス

5301 Beethoven Street, Suite 120,
Los Angeles, CA 90066
Tel: 310-474-4886 Fax: 310-474-4864

■テキサスオフィス

7322 S.W. Freeway, Suite 1020, Houston, TX 77074
Tel: 713-541-4478

■アラバマオフィス

1010 Heathland Drive, Huntsville, AL 35816
Tel: 256-520-1030

■ノースカロライナオフィス

801 Tinkerbell Road, Chapel Hill, NC 27517
Tel: 919-215-4665

E-mail: personnel@usremac.com
URL: www.usremac.com